(十六日夕刊)

# 磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料 [illegible] 指定廿錢增
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六 發行所 磐城新聞社 電話五六四番

## 安達謙藏征伐論(一)

松本正雅

◇はしがき◇

昨年六月、舊憲政會並に舊政友本黨の同志が民政黨を創立せるは、一に國家の現狀を慨し、遠く將來を慮つたるが爲めに外ならず、蓋し志を天下國家に持つものに於て、世相の險惡と人心の頽廢を座視するは固より忍び得ざる所、乃ち宇内の形勢と時代の要求に鑑み、茲に新黨を組織し、政綱を革め政策を新にして天下萬衆に臨みたるは全く之が爲めのみ、爾來同黨の提唱と赤誠とは幸にして國民の共鳴と同情とを贏ち得、黨勢日に張り、今春の總選擧に於て豫期以上の成功を博するに至るは豈に獨り同黨の慶幸とのみ云はんや、實に憲政の大道を確立するに於て又た國民の瑞祥たるを失はずとせず、故に若し政機一轉せんか、同黨は平素の抱負經綸を天下に布き、以つて國民の負託に背かざるべきは吾人の審かに確信せる所なりき、唯だ是れあるが爲めには黨員各自は常に立黨の精神に顧み外は時勢の匡救に任じ、内は黨紀を嚴守し、黨員協力一致して國民の期待に副ふべく自省自重し專念せざる可からざりし也。

然るに何ぞ、近來黨勢擧らず、黨紀紊れ、黨中黨を樹して群小割據し、互に猜疑嫉視して將に四分五裂の嶮相を含めるなど、恰ながら支那政局の縮圖を見るが如き、甚だ奇怪ならざるか。吾人を以つて[illegible]言を爲すを[illegible]勿の[illegible]現に民政黨の重鎮床次竹二郎氏既に一黨を率いて民政黨を去り更に第二第三の床次氏が民政黨より續出せんとする形勢滔然たるものあるに非ずや、一葉落ちて天下の秋を知るは既に遲し、一葉落ちても尚ほ秋の到るを知らざるものに至つては、眞に痴漢のみ、吾人は今こそ切實に民政黨の將來を思慮すべき最後の斷崖に立てるを思はざるを得ず。

◇床次氏脱黨の側面觀◇

床次氏の突如たる脱黨は何が故に起れりや、床次氏は其の資性重厚謹嚴なるに於て世に既に定評あり、更に其の高邁なる人格に於ては蹶然他の現代政治家をリードせることも天下の公認せる所に屬せり、氏が飜然として時弊を洞察して慨然として之が匡救の志を樹つるや、自ら其の率ゆる政友本黨を解黨し一黨總裁の榮譽をも自ら抛ち、眞に一陣笠の決意に於て民政黨の組織に參加す、至れり、是れ豈に尋常一様の政治家の能く爲す所に屬せんや、而かも立黨以來の行藏に至つては其の壯烈、其の悲痛、神人共に泣かしむる慨ありしは何人も之れを否む能はざる所なるべし、即ち入つては黨の樞機に參畫し、出でゝは天下に遊説して常に其の第一線に立ち東奔西走殆んど寧日なく、一切の全力を擧げて黨に捧げて惜まざりき、孟子の所謂「天の將に大任を是人に降さんとするや、必らず先づ其心を苦しめ其の筋骨を勞し其の體膚を飢やし、其身を空乏し、其爲す所を拂亂す」とは、洵に床次氏の忍苦試練の一個年間を道破せるものなるべし、舊本黨系の人々は勿論、舊憲政系の人々と雖も、やがて民政黨總裁の椅子が床次氏の爲めに幸運の準備をなすべきことあるを疑はざりき、而も[illegible]斯黨の渇[illegible]期待に背き、床次氏は突如として民政黨を脱し新黨樹立の計劃を發表するに至りしは抑も何故ぞ、

天下口なし人をして言はしむ、床次氏の脱黨に就て世間は謂れいふとなく、是れ安達謙藏氏の陰謀によつて去れるなりと稱へり而して斯の説は國民一般の首肯する所となれるも亦不思儀に非らずや、由來床次氏は自己一身の利害を標準として之れによりて自己の進退を決する當世型の政治家にあらざることは何人も領會する所也、若し床次氏一身の利害と安危とのみを言へば、暫らく黨内に踏み[illegible]を續けることにより當然に黨内に一大勢力を張つて重要なる發言權を掴むべきは明白なるのみならず、又た或は民政黨總裁と併せて宰相の印綬を帶ぶるの必ずしも難事にあらざるも亦た明白也、何を苦しんで自ら脱黨者の名を負り、好んで新黨樹立の難に就く理由あらんや、然らば床次氏脱黨の眞の動機は何處に之を求むべきや、言ふが如く果して安達謙藏氏の排斥と陰謀に餘儀なくせられたるものなりや否や、吾人は之を以つて眞相の全部とは云はざるも、慥かに一部の眞相を把握せるものとして、或る程度まで斯の事實を承認せざるべからず。

※明日の吉凶※
舊九月四日　新曆十月十七日

▲一白 虚榮を去り不備の點を繕ひつゝ進んでよし▲二黒 心緒亂麻の如く氣落付かず取捨に迷ふべし▲三碧 我意を張らず和順にし働けば助勢も來る▲四綠 足ることを知れば却て闇の利得あるべし▲五黄 勢多く[illegible]怨むことなく[illegible]正しき娯み▲六白 空想に走りて本を忘易し人の口に乘る▲七赤 働けば却て氣運を害することあり戒むべし▲八白 案外元氣付けど尻を縮めざれば後患あり▲九紫 一路の苦辛を忍ぶ時は今後に大吉なり

講談 幕末秘帖 狂怒亂心 (68)
渡邊默禪作 宮野歌春畫

此の時分は未だ勇の活動期に入らぬ以前なので、新徴組の一部なる芹澤鴨の組下に屬し、乳虎おもむろに爪を磨いで風雲の至るを待つといふ雌伏期であつたけれども其の威力と名望は既に全隊を壓して風上に立つ者なく、浪士達はいづれも近藤の若先生と稱へて敬服してゐた。梅の騷ぎは此際に起つたのである。

近々鵜殿鳩羽に率ゐられて、將軍の上洛に先立ち京都に上らうといふ矢先、新徴組の間に何となく面白からぬ暗潮が動き出したそれは表に佐幕と見せかけて、内々勤王派と氣脈を通じ又は此の新徴組を利用して、自分の野心を遂る器械に爲ようなどゝ企む者もあるにはせぬが、有るらしい、どうも彼奴は怪しい、此の男が變だなどゝ互ひに疑ひ合つて、内々盲の探り合をしてゐたことさへである。

梅は新徴組に加盟はしたけれども公然發表することは見合せた。只勇と歳三だけが肚に納めて置いて假同志といふ資格で或る運動をさせる事に三人の間に話が定つた。

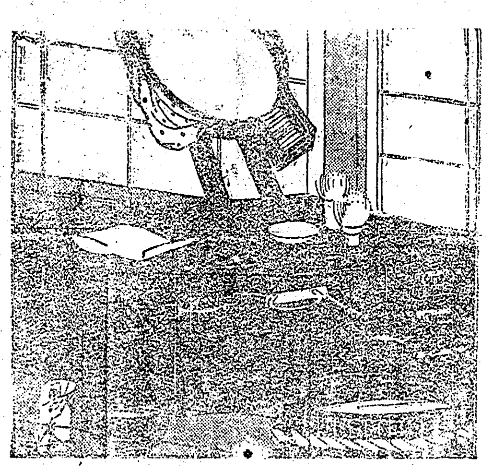
此の事は無論火消の屋敷に知らせて遣らない、梅もそれつきり歸らぬことにした。そして浪士仲間には梅が同夜の中に立去つたことを吹聽して置いた。深更の密談は誰れあつて悟る者は無かつた。

夜の明けかゝる頃、梅は忍びやかに新徴組の屋敷を出た。怪しむべし[illegible]ぼろ〳〵つゞれの一枚に細の帶、破れ手拭に頬冠り、破れ酒樽、振分けの荷づぼりと胸に被いでゐた。胸にかけた頭陀袋には握飯が五つ。梅は乞食の早變りをしたのである。

藤屋の別莊に體の好い囚はれものとなつたお君は最早二晩も我慢が出來ず、その翌朝さつさと飛出して逃戻るべく覺悟の臍をかためて四つ前に寢床に着いた絹夜具のすんべりとした肌さはり、伽羅の香とやらをたきこめたものであらう身動きする毎に其の袖からふうわりと得られぬ薫が立つ最初の間こそ煩悶もしたれ、泣きもしたれ、次第に温まるにつれて睡氣さし心地よくぐつすりと夢を結んだ。

眼を覺まして見ると東の窓に日がかん〳〵照つてゐる「こりや大變だ」とびつくりして飛起きて忙しく床を揚げて片隅にちやんと疊んで、さて次の間へ出て見ると南無三！何の間にか雨戸障子も開放してあつて、花の香をのせた清い空氣が薄ら寒いまでに流れ込んでゐる。笹竹を後に萩の四目垣、苔青き洗手鉢に向つた小さな縁側には齒磨楊子から手拭黒塗のたらひやら、茶碗やら、鏡立、化粧臺に至るまで朝に必要な女の道具を一つも遺さず置き列べてある。

さては出し拔かれたかと、いよ〳〵狼狽して庭越しに母家の方を覗いて見ると、遠州好みのうつこみに遮られてよくは解らぬが女の笑聲が洩れて聞いた

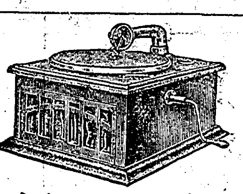


吉田眼科醫院

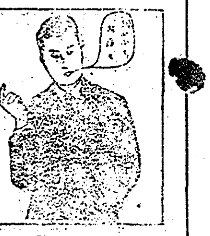
電話開通
八三二番
酒類、味噌、醤油、サッポロビール キリンビール其他
綠川酒店
平町材木町

電話開通
八二〇番
米穀商 志賀千鶴
平驛前

冬の學生服特賣
是非！冬服もなかやで―
長ズボン付上下
二號……八九才向 二圓二十錢
三號……九十才向 二圓四十錢
四號……十一二才向 二圓六十錢
五號……十三四才向 二圓八十錢
其他各種澤山取揃つて居ります
尚中學服も揃つて居ります
平町二丁目 あかや洋服店 電話二〇三番


十月ビクターレコード
入荷致しました
何でも間に合ふ店
日本蓄音器會社ビクター會社 販賣部
三幸堂
平町二丁目

入院隨時(自炊の便あり)
内科、小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學博士 五十嵐雄次
内科長 醫學士 伊吹彪二
外科一般
外部長科 醫學士 氏家憲介
毎日曜手術 醫學博士 鈴木退輔
産婦人科、女子泌尿科
産婦人科部長醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
本院嘱託 法學士 岡蕃
法制嘱託 本院主事 賀澤忠治 電話七二番
最新式シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル
X光線新設
主任 醫學博士 難波睦
入院自炊ノ便アリ
磐城共濟病院
平町 電話六四二番
◎看護婦募集


心配ご無用！
ドンナに惡性頑固な慢性淋病も本邦の强烈な殺菌力で尿道の奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺しウミも痛みもケロリと治癒す 今すぐ御服用を……
淋病最新薬 トリックス
總病用一圓・二圓 療病用三圓・五圓・十圓
(説明書三錢郵券封入御申越)
平町五丁目角 特約店 山野邊藥局

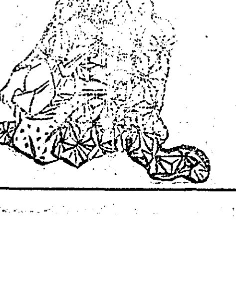
高久病院
平町田町 電話五一三番

營業種目
内地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負 其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町 電話三三五番

内科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町新田町 電話五〇七番

優秀なる最新型腕卷時計
◎クローム側 白金代用側
十型 十石入 アンクル 七圓五十錢
十型 十五石入上 アンクル 拾壹圓
九型 十石入上 アンクル 九圓五十錢
九型 十五石入上 アンクル 拾三圓
八型 十五石入 アンクル 拾貳圓
八形 十五石極上 アンクル 拾五圓
◎十八金側 (金質保證)
十型 十石入上 アンクル 拾貳圓五十錢
十型 十五石入上 アンクル 拾八圓五十錢
九型 十五石入上 アンタル 拾五圓
八型 十五石入上 ヤンタル 拾七圓
平町五丁目(釜屋商店前) 鐵道省御用 金光堂時計店 電話七三六番

これさへナチヨコ豆粉は豆だ
うどん粉メリケン粉は麥の粉
アーコーナ〳〵
豆粉(きなこ) 請合 味のよい事
麥粉(むぎこ) うどんこ メリケンコ
そば粉、片栗粉、うき粉
こり粉、上新粉、からし粉
何だ太郎七豆腐は豆だ
あやめ團子は米の粉
アーコーナ〳〵
だんご用
米の粉 一升 二十五錢
白玉粉 百匁入 十五錢
さらしあん粉 百匁入 十錢
もち米の粉 一升 三十錢
パン粉 百匁 十六錢
平町土橋 マルマン商店 電話八三五番



蒲鉾賣出し廣告
夏期氷水販賣中は御引立に預り豫期以上の盛況を見て終了するに至つた事を厚く御禮申上ます。今回氷水販賣終了と同時に例年の如く蒲鉾製造を開始致しますから倍舊の御用命の程懇願致します。
蒲鉾(材料精選、風味絶佳)
さつまあげ
(お土産品として籠入一個六十錢外數種何れも体裁優美)
御大典記念全國商工博覽會於銀盃受領
平町二丁目 電話三〇五番 藤市蒲鉾店

磐城病院改稱
市原病院
平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

産婆 草野靜枝
平町研町(公園下) 電話(呼)四四三番

# 取扱ひ三萬餘貫 十八萬五千圓
## 昨年より六千貫の增
## 四倉市場總勘定

石城販賣利用組合四倉繭市場は愈々昨十五日の取引終了後秋繭取引を閉場したが今秋繭の取引成績は頗る良好で總取引高實に三萬二十八貫四千七百八十九件此れが總取引金額は驚く莫れ十八萬五千二百三十七圓の巨額に達し市場開始以來の好成績を示してゐる此の良績に就いて尾形主事は

「十日閉場の豫定であつたのが郡下一帶に幾分の遲蠶であつた爲と各方面からの出廻增加に依つて當業者から延期の懇請があつたので五日間の延期をしたのだが其の結果は遂に三萬貫を突破し開場以來の好成績を收める事が出來ました昨年度の秋繭取引より實に六千貫の大增加で此れは郡内は勿論相双二郡を始め縣下各地遠くは茨城宮城方面からの持込があつた爲めで來春繭からは一層の增加を見る事と豫想されます取引中の最高値は昨十五日の八十二圓十錢此れを仲買人の手に依つて取引する最高値と比較すると約十圓の高値であります」云々と語つてゐた

# 何と苦面をしても 今年中に起工
## 町有土地を賣拂つて
## 平町役場の新築

平町役場新築は設計並にこれが財源捻出方法も決定し既に着工すべき筈であつたが財源に當てた現廳舍敷地三百坪水道部敷地六百坪その他百坪の賣却が財界不況に祟られ當局の豫定價格と實際の賣買價格との間に相當の懸隔があるため賣却出來ず從つて經費支出の道なく到底今年度中には着工不可能とされて居たが最近に至り種々の關係から各議員間に於ては御大典記念事業の意味に於て至急着工すべきであると叫ばれて來た、土地賣却は最初の豫定價格よりも多少低下し坪平均三十圓位とし更に現在廳舍敷地に指定してある新川端十五丁目の土地を合せて賣却し新川向に敷地を變更することになれば結局敷地の賣收費も二分の一以下となるから總計に於て却て二萬圓以上の剩餘金が生ずることゝなりこれを更に他の事業に計上することが出來る故その方針で直に着工すべしと言ふ議論が漸次有力となりつゝあるから或ひは年末頃には着工されるのではないかと見られてゐる

# 植田署狩獵

二十一日に下附植田警察署管内は田人組合村、入遠野、上遠野村等の山村を有し好獵場を持つて居るのでポツ〱と銃聲が聞こえる樣になつたが十三日までに狩獵免狀の下附されたもの二十一名に及んだがこれから加速度的に增加するらしい

# 白銀町を屠らんと 各町必死の努力
## 愈々明十七日に迫る
## 平町民体育大會

平町民第二回体育大會は既報の如く明十七日午前八時から高月臺上磐中校庭に於いて盛大に擧行されるが前年度大會に大優勝旗を獲得した白銀は今年度も再度優勝を期して數旬來死者狂の猛練習を續けて居り依然優勝候補の一に數へられてゐるが多數の一流選手を有する田町組は昨年の慘敗の汚辱を雪がんと此れまた必勝を期して猛練習を續けてゐるから白銀組との對戰はけだし當日の白眉であらう、殊に其の他の各町は前記白銀、田町等を一蹴せんとして秘かに其の實力を練つてゐるから此れまた優勝候補たる田町白銀の樂觀を許さざるものがあり果して何れが大優勝旗を獲得するか前人等は實に素晴しいものである

# 濱三郡に 支廳を置け
## 猛運動を開始

郡廢實施後、縣並に町村の經費は節減どころか却てばうちやうして居るのに濱三郡下は地理的關係から縣廳との往復がすこぶる不便のため關係民は不便を感じながら多大の經費を浪費する狀態にあるばかりでなく敎育產業その他の指導をうける恩典に浴する率が少ないので面白くない現象を來すから是非共濱三郡下を管かつとする支廳を設置しなければならないと支廳設置運動の計畫をなし縣並びに政府當局がこの希望を容れない場合は石城、双葉の兩郡は茨城縣に合併する覺悟で猛運動を起さんと着々準備を整へて居る

# 四倉繭市場 閉鎖
## 不正商人取締

石城郡地方唯一の繭買入機關である四倉繭市場の秋繭取引は春蠶以上の好成績を納めいよ〱十五日閉場することゝなつたが同場閉鎖後と雖も今月下旬ころまでは晩秋蠶の出廻りを見るべく豫想され市場閉鎖後の出廻り秋繭は現在の買入値段より數割安値を以て購入せんと企だてゝゐる不正商人が續出する虞あるため同場では養蠶家に警告を發してゐるが明年度よりは同場で一定の期間内に取引終了する樣養蠶家と對策を講ずることゝなつた

# 兇器を持つて 青年が徘徊
## 植田署で逮捕

住所不定窃盜前科一犯岡本義雄（三〇）は去月中少年刑務所を出獄後北海道函館市の某土工部屋に働いてゐたが昔馴な勞働に堪へ兼ね本月上旬錦紗男帶一本その他衣類數點を窃取逃走し青森縣から常磐線泉驛まで薩摩守をきめ十四日泉村志賀ちう方より衣類數點を窃取東京方面に高飛びせんとしたところを植田署員に逮捕されたが同人は懐中に短刀その他の兇器を所持し居り或は重罪犯人ではないかと餘罪取調べ中

# 月次撞球會

平町南町スズラン撞球場では來る廿日午後五時から恒例に依る月次十勝會を開催するが本賞十等乙賞七等までである

# 羽が生えて飛ぶ樣に 賣れる足利銘仙
## 品がよくて値が安く
## 盛況の第一日

足利銘仙の宣傳を目的に今十六日と明十七日の二日間平町田町磐城通信社樓上に即賣大會を開催中の足利織物信用購買組合が然かも栃木縣廳商工課購買聯合の後援のもとに營利を離れた犧牲的の即賣會であると云ふので開店遲しと待ち構へた多くの人々は午前九時以來引きも切らず何れも品質の確實なると價格の低廉なるとに一驚し人は人を誘つて續々と詰めかける顧客で大盛況を呈したが足利織物の眞價を宣傳するのが目的の此の催しは品質の確實と値段の安いことは不思議でないが更らに一度買つた品でも後日取替へ並に現金返し等も自由のことゝて飽くまで御客本位の即賣會は非常に人氣よく明十七日は神嘗祭であり磐女校の運動會等で附近町村から多くの婦人連で定めし賑ふことであらう

# 三人組賭博
## 平署に捕はる

宮城縣牡鹿郡女川村生れ當時住所不定前科二犯木村正名（三三）北海道北見國生れ原新吉郎（五五）耶麻郡鹽川村生れ一重啓三（七〇）の三名は昨十五日午前十一時頃內郷村大字御厩本貸宿營原ヤヱ方で現金賭の丁半を開帳中平署柴崎森兩刑事に踏込まれて逮捕された

# 花札の戯れ
## 二名一網に捕はる

飯野村大字上荒川前前科二犯猪狩與之（五六）平町字才槌小路坂本金作の兩名は坂本方二階に於いて現金賭の花合賭博中今十六日午前九時半頃平署猪狩刑事に踏込まれて逮捕された

# 大浦校竣工
## 十七日落成式

石城郡大浦村では工費六萬六千餘圓を以て小學校舍を並に御眞影奉安庫工事六百三十三圓雨天体操場四千百九十餘圓を以て平町堀江工業株式會社が請負ひ新築工事中の處いよ〱竣工したので明十七日午前九時より盛大な竣工式を擧行することゝなつたが堀江工業社長江口忠一氏は祝賀の爲め全生徒に特製の學生手拭二本づゝを寄贈した

# 同名異人の珍事
## 阿賀川で溺死を傳へられ
## 植電社長 金成氏の迷惑

石城郡錦村長子金成通（三七）氏は鐵道省技手を奉職し這般湯本町傾城トンネル工事監督の爲め來郡中の處一旦本省に歸廳し十五日午前七時耶麻郡荻野村阿賀水力電氣發電所技手古川吉司（三四）外二名と阿賀川に小舟を浮べて測量中顚覆し溺死した椿事あり此の報一と度び傳はるや右金成通の名が然かも同村出身にして同姓名異人である植田水力電氣株式會社長金成通氏と早合點をし一部新聞に報導された爲めのことから植田水電や錦村の金成氏邸に照會や果ては見舞の飛電等が舞ひ込み甚だ迷惑を蒙つたが當の金成植電社長は十四日午後古川縣議と共に上京し十五日は確實に東京神田の控邸にゐたことゝて金成氏の本邸や近親並に植電では少しも惑ふ所なかつたが此の騷ぎで十五日夜來地方は時ならぬ話題に賑つた

小生事上京中新潟電氣阿賀川發電所ニ於イテ遭難セル旨誤報ニヨリ各位ノ深厚ナル御見舞ヲ辱フ致シ候處右ハ同名異人ニ有之候間御安心下被成度不敢取以紙上深謝奉候

十月十五日

植田水力電氣株式會社
社長　金成通

# 第四回福島縣清酒品評會
## 優等より三等迄の入賞者

福島縣酒造組合會主催第四回清酒品評會褒賞與式は十六日午後一時から平税務署樓上にたいて擧行されたが出品人員百五十六人點數三百五十一點中入賞者次ぎの如し

（優等賞）花春（ホハニヘ號）若松市宮森常八末廣（トロハ號）若松市第一新城猪之吉、花春（イロ）號同宮森常八、末廣（ヘ號）同第一新城猪之吉、末廣（ハイホ號）同第一新城猪之吉、大七（ハ號）安達郡太田七右衛門

（一等賞）蒲正ロ號若松市河野善助、富久方ロ號伊達郡高野佐次兵衛、吉野川ハ號耶麻郡冠木吉郎治清瀧若松市星野三郎治、萩盛イ號岩瀨郡萩谷伴助大山ロ號同人、吉野川ロ號耶麻郡冠木吉郎治、末廣イ號北會津郡第二新城猪之吉、大七イ號安達郡太田右衛門、大七ホ號同人、大山イ號岩瀨郡萩谷伴助、山櫻二號郡山市株式會社山口酒造店、千駒四號西白河郡池島三代吉鶴ケ城に號若松市和泉鐵次郎、蒲正八號同河野善助、笹正宗ト號耶麻郡岩田儀八、蒲正ホ號若松市河野善助、同ニ號同人、たひら正宗イ號石城郡合資會社松吉ヰ酒店

（二等賞）萩盛ロ萩谷伴助末廣ロ第二新城猪之吉、若鶴イ荒井久兵衛、大七ロ太田七右衛門、大和錦イ佐藤喜代八、富久高イ高野佐次兵衛、大七ニ太田七右衛門、笹正宗ニ岩田儀八、富久高ハ高野佐次兵衛、笹正宗ホ岩田儀八、國士冠一號大木代吉蒲正イ河野善助、白陽へ大谷忠吉、千駒ニ池島三代吉、鶴仙ハ合資會社松吉屋酒造店、金瓢ニ横田平助、小錦イ鈴木喜太郎千代鷹ニ大木代吉、竹正宗ロ松本善六、末廣チ第一新城猪之吉、鶴仙イ合資會社松吉屋酒造店、竹正宗ハ松本善六、千駒三號池島三代吉、稻ノ花ハ山中八次郎、世界美人イ宮森又次郎、千駒五號池島三代吉、笹正宗ハ岩田儀八、功正宗イ星野貞治樂器正宗一號大木代吉、末廣ハ第二新城猪之吉、岩瀧ロ佐藤和右衛門、山櫻三號株式會社山口酒造店、鶴仙ロ合資會社松吉屋酒店、千代鷹一號大木代吉、寶開運ニ高田米松竹正宗イ松本善六、鶴ケ城イ和泉鐵次郎、千駒一號池島三代吉、奥の松二號合資會社油屋酒造店、金瓢イ横田平助、寶開運ハ高田米松、樂器正宗二號大木代吉、金瓢ハ横田平助、たひら正宗ハ合資會社松吉屋酒造店、寶開運イ高田米松、櫻井ロ〇渡邊忠一郎、東山イ宮森文次郎、小錦ロ鈴木喜太郎、笹正宗イ岩田儀八、若鶴ロ荒井久兵衛、世界美人ロ宮森文次郎、光ハ小原喜左衛門、白馬の雪ハ松本德一、御代の鶴イ佐原久治、大柏柏木新八郎、松の友松本傳衛、大和錦ハ佐藤喜代八、香久山柏木直之助

（三等賞）金瓢ロ横田平助國乃櫂イ細井新吾、笹正宗へ岩田儀八、山櫻六號株式會社山口酒造店、たひら正宗ロ合資會社松吉屋酒造店、榮川イ宮森榮四郎、山櫻五號株式會社山口酒造店、笹正宗ロ岩田儀八、小錦ニ鈴木喜太郎、櫻井イ渡邊忠一郎、山櫻天株式會社山口酒造店、東山ロ宮森文次郎、美人正宗相田八三郎、國士冠ニ大木代吉、金瓢へ横田平助、金水晶正宗イ齋藤金次郎、香久山香久山合資會社、此花ハ河野善九郎、此花ロ同人、千代ノ松の井猪股利喜造、山櫻四號株式會社山口酒造店、進軍白河譲造株式會社、會津富士ロ會津酒造株式會社、岩瀧イ佐藤和右衛門、會津富士イ會津酒造株式會社、竹正宗ニ松本善六、豐川イ宗田義郎、金瓢ホ横田平助、此花イ河野善九郎、稻正宗松本德藏、吉野川イ冠木吉郎治、奥の松ロ合資會社油屋酒造店、會州一イ第一山口儀平、國光イ小原喜左衛門、磐洲一イ西澤善太郎、養老ハ星常夫、小錦ハ鈴木喜太郎、寶開運ロ高田米松、若鶴ハ荒井久兵衛、磐洲一ハ西澤善太郎、住乃江星野嘉右衛門、榮錦イ須賀川酒造株式會社、稻の花イ山中八次郎、小錦ホ鈴木喜太郎、美家光松本忠四郎、泉川ロ安藤忠助、松陽根本久、奥の松イ合資會社油屋酒造店、大天狗ロ伊藤衆三、近盛ハ馬目太平治、大和錦イ佐藤善內、大和川ロ佐藤彌右衛門、白陽ハ大谷忠吉、澤の井イ鈴木兵十郎、谷の越大谷醸造株式會社、澤の井ロ鈴木兵十郎、白虎イ第二山口儀平、山櫻一號株式會社山口酒造店、白馬の雪イ松本德一、泉川イ安藤忠助、功正宗ロ星野貞治、磐雪ロ西澤善太郎、白陽ロ大谷忠吉、會津富士ハ會津酒造株式會社、鶴正宗イ玄葉鶴治住乃江ロ星野嘉右衛門、國光ロ小原善左衛門、鶴正宗ロ玄葉鶴治、一泉正宗イ眞壁守平、福販榮ロ[illegible]ムネ田利八

# 清酒褒賞授與式
## けふ平税務署に於て
## 知事以下の祝辭

第四回本縣清酒品評會に於ける入賞者は別項の如く審査決定を見たが此れが褒賞授與式は今十六日午後一時から平税務署樓上に於いて開會審査長鹽入濱吉氏の審査報告あつて後褒賞縣褒賞の授與式聯合會杜氏表彰、日本醸造協會東北支部副賞授與式あつて加勢知事の式辭、來賓祝辭後受賞者總代若松市宮森常八氏答辭を述べ午後三時閉會し四時から住吉屋本店樓上に祝賀盛宴を張つた

# 四倉繭市場

十五日の取引高

四倉繭市場に於ける最終日たる昨十五日の總取引高は三百九十貫最高値八圓廿一錢最低五圓五錢買馴七圓四十八錢であつた

# マルト十勝會

平町字田町マルトビリヤードでは來る廿一日午後一時から同撞球場に月次十勝會を開催するが當日はトーナメント式優勝カップ爭奪戰は從來の競技と異つてゐるだけ興味の中心となつてゐる尚本賞十等猛者十等まで賞品を授與すると

製産者より直接消費者へ

足利織物宣傳即賣大會

一、本銘仙、モヨウ、絣、縞
一、新銘仙、同
一、帶側地、各種上
一、兵兒帶地、同

本秋冬流行の粹 五千點 正札附

會場　磐城通信社樓上
田町大通り（石川亭前）（電話六〇三番）

日時　十月十六日　午前九時より
　　　同十七日　午後九時まで

主催　足利織物信用購買販賣組合
後援　栃木縣廳商工課購買聯合會

▼正確なる値段を御覽下さい